

(公財)北海道サッカー協会 御中

2022 年 7 月 25 日

第4回(通算第14回)北海道レフェリーアカデミー 事業報告

報告:一瀬哲平(札幌)

【日時】2022 年 7 月 16 日(土)、17 日(日)

【場所】旭川市東光スポーツ公園、東神楽町交流館

【参加者】審判員:一瀬哲平、岡聖人、山口麗弥

インストラクター:古曾部統太郎 RAM、今川一輔 RAI、岡田渉 RAI、平石暁史 RAI

オブザーバー:森英樹様、小宮圭示様、氏家克仁様、砂川邦裕様(イントレ)

高須賀哲平 氏(2 級審判員)

【テーマ】動き出しのスピード・質の向上

7 月 16 日

08:00 集合 @旭川市東光スポーツ公園

09:30 試合実践① 総理大臣杯北海道予選 2 回戦 旭川大学 - 北海道科学大学

主審:一瀬哲平 担当:砂川 INS

〈自己分析〉

今回の RAC のテーマである「動き出しのスピード・質の向上」は、自分の課題としても掲げているテーマであるため、自分の力を精一杯出せるよう望んだ。両チームともにロングボールを多くける展開に対し、前半はベストパフォーマンスを出せた。しかしながら、後半につれて動き出しが遅くなってしまったため日々のトレーニングの質を向上させていきたい。



12:00 試合実践② 総理大臣杯北海道予選 2 回戦 東海大学札幌校舎 - 室蘭工業大学

主審:岡聖人 担当:小宮 INS

〈自己分析〉

この試合のテーマとして動き出しのタイミングを意識した。試合前に古曾部 RAM より、動画を用いて動き出しについてアドバイスを受け、実践したところ普段は争点がバイタルエリア付近であってもスプリントの途中であることが多く、視野を固定して監視することができないことがあったが、動き出しのタイミングを攻守が変わった直後に攻撃方向で数歩動くことで、バイタルエリアにおいて走るスピードを落とすことができ、視野を固定して落ち着いて監視することができるようになった。今回、動き出しについて良い感覚を掴むことができたため次回以降も継続したいと思う。

14:30 試合実践③ 総理大臣杯北海道予選 2 回戦 札幌大谷大学 - 星槎道都大学

主審: 山口麗弥 担当: 氏家 INS

〈自己分析〉

終始、一方のチームに判定が受け入れられなかった。特に、プッシングだったり、ホールディングだったりが多い印象だったので、序盤のうちにホールディングなどのファウルに対して、パブリックに注意することで抑止する必要があった。一方、動き出しについてはカウンターに対して良いスピードで対応できていたと思う。



17:00 移動 @東神楽町交流館

17:20 試合振り返り

18:00 フィジカル講義『Recovery』 担当: 岡田 INS

Recovery とは、回復や復旧という意味を持つ。レフェリーとして、シーズン中必要不可欠である Recovery について学ぶ上で、同時に「Stressor(ストレッサー)」について理解する必要がある。3 つの Stressor には、構造的ストレス・精神的ストレス・科学的ストレスがある。このストレスの種類に応じた Recovery technic を使い分けていく必要がある。また、4 つ(心理的・生理的・神経系・構造肉体的)の Type of Stimulus /Stress(刺激)を使い分け、自分自身にとって心地よいと思えるアプローチを試みていきたい。Recovery Cycle(TR⇒休息⇒適応⇒TR)の中で自分と向き合うことが Best Performance につながることを学んだ。



18:45 諸連絡・解散

7月17日

09:30 集合 @旭川市東光スポーツ公園

11:00 試合実践④ 総理大臣杯北海道予選3回戦 旭川大学 - 北海道教育大学岩見沢校

主審: 山口麗弥 副審1: 岡聖人 担当: 氏家 INS

〈自己分析〉

前半15分のDOGSO(決定的な得点の機会の阻止)による退場は、事前にその状況を把握する意識を持っていたことで正しく判定することができたと感じている。ただ、状況は常に変化していくものなので、事前に得ていた情報に頼りすぎて先入観による判定をしてしまうことは危険なので、そこに注意しつつ、今後も判定の精度を上げていきたい。また、今回のテーマである動き出しがうまくいったため、状況把握に余裕が持てたので続けていきたいと思う。

13:30 試合実践⑤ 総理大臣杯北海道予選3回戦 北翔大学 - 北海学園大学

主審: 一瀬哲平 担当: 砂川 INS

〈自己分析〉

ポジショニングについては、前日の良いイメージと課題をしっかりと整理して望んだ。ボールの動きが雨でスリッピーになる中、的確な判定ができるよう留意した。しかしながら、動き出しが遅れたことによりDOGSO(決定的な得点の機会の阻止)の可能性がある事象を現場で見極める事ができなかった。角度によって感じる距離感や競技者の位置が変わるため、事前の予測と判定する際の自分の位置について改善を図りたい。

15:45 試合振り返り

16:30 諸連絡・解散

